

# 水彩画教室「春霞の白樺林」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今年の浅間高原は まとまった雪があまり降らず 3月上旬からはついに雪がほとんど見られなくなりました 白樺林も林床に地面が見え 春霞に煙っています こういう風景の中に小さなテーブルを出して 一日福永か上林を読むのもいいと思います



これが完成した絵です



1、梢(細い枝)は細筆で描きます ブラックを薄めに溶いて テンポ良く描くのが大切です



2、白樺の幹は 背景がすべて乾いたあと 白のパステルで描きます その後ブラックで樹皮の模様を加えます



3、近くの樹ほどはっきりと 根元を画面下方に 遠くの樹ほど根元を画面上方に描きます



4、弱い日差しを表現する為に 樹の影もごく薄く描いておきます



5、森の奥は暗くしますが それも輪郭をぼかして 霞んでいる様子を表現します



6、森の奥に少しだけ桃色を配して「春の気配」を表現してみました